

# 来年夏にむけ、エアコンがない高校への設置と保護者負担の見直しを検討

# 県民と一緒にねばり強くとりくみ、県政をうごかす

9月県議会で知事は「来年夏に向けて、県立高校普通教室へのエアコン整備を検討」することを明らかにしました。

123ある県立高校のうち、教室にエアコンがないのは20校です。エアコンがある高校も、費用は保護者が負担しており、県は、その分も「検討する」としています。

日本共産党は、あしかけ8年以上にわたって、生徒や保護者、学校関係者と一緒に粘り強くエアコン設置を求めてきました。世論と運動、議会での取り組みが実を結び、ついに県政を一歩動かししました。

**日本共産党：生徒の痛切な声に応えよ**  
「保護者から希望があれば許可する」…県教委

2006年、子どもたちの健康を心配して保護者がお金を出し、8校で初めてエアコンがつけました。県教委は、「設置や維持管理に多大な経費が必要」「PTAにお願いしている」との姿勢で、自ら

の責任を投げ出してきたのです。

日本共産党は「平等につけてほしいけど、生徒会の予算で扇風機を買うしかない」「暑くて頭が痛くなる」「シャツやズボンが汗でひっつき、勉強に集中できない」「親にエアコン代を払ってと言えない」など生徒の訴えを県に突きつけました。

しかし県教委は「保護者から設置希望があつた場合、許可した」と平然と繰り返し、関係者の大きな怒りを呼んだのは当然です。

議会には、「教室と職員室へのエアコン設置」を求める請願も出され、日本共産党は採択を主張しました。一方、自民党、公明党などは反対し、この願いに背を向けました。

**日本共産党：エアコンで室温を下げるべき**  
着替えなど指導している…県教委

教室は朝から30度を超え、昼間は33度、34度と、さらに上昇し、まるで「灼熱地獄」です。日本共産党は、学校環境衛生基準（28度未満）を上回る実態を示し、エアコンを整備しなければ室温は下がらない、と厳しく指摘しました。

しかし県教委は「教室、廊下などの換気、体操服への着替え、給水タイムの確保などを指導している」との驚くべき答弁を重ねてきました。

**神奈川県のとりにくみを示し県に英断を迫る**

神奈川県は、3か年計画ですべて県負担に切り替えました。教室、職員室、音楽室や図書室などにエアコンがつき、担当者は「保護者負担では学校間格差の固定につながりかねない。健康管理や学習環境改善のため、設置者である県が整備した」と述べています。

日本共産党は、神奈川県のとりにくみを調査し、県に設置

を迫りました。

**暑いのは先生も同じ**

関東では千葉県だけ職員室にもエアコンがついていません。県は毎年4校〜5校程度しか整備しません。これでは全部つけ終わるのに20年近くかかります。

**年間14億円あれば可能**

エアコン設置は最優先です。すべての県立高校の教室、職員室へのエアコン整備にかかる年間予算はおおよそ14億円。県予算の0.1%未満、教育費の0.4%程度です。



▲エアコンのない高校の教室

丸山慎一県議といっしょに住みよい船橋市をめざします

**しいばかずゆき**  
(党中央委員)

**浅野ふみ子**  
(党千葉県副委員長)

**さいとう和子**  
(前衆議院議員)

**岩井友子**  
(市議会議員)

**金沢和子**  
(市議会議員)

**坂井ようすけ**  
(市議会議員)

**佐藤重雄**  
(市議会議員)

**関根和子**  
(市議会議員)

**中沢学**  
(市議会議員)

**松崎さち**  
(市議会議員)

**渡辺ゆう子**  
(市議会議員)

**佐川長**  
(たけのこ)

**安田ススム**  
(党市・住環境・団地対策部長)

**神子そよ子**  
(党市・市民運動部長)

(党市・医療・介護相談室長)



2018年9月県議会代表質問

## 県議会報告 2018年秋冬号

(事務所)

274-0805 船橋市二和東6-41-20

電話 047(440)5240 fax 047(449)7004

http://maru.on.coocan.jp/